

こどもアンケート 意見（2024/8/30）

No.	対象	設問	意見	理由	対応
1	こどもアンケート	全体	アンケート内の文言や表現は、「やさしい日本語」やユニバーサルデザインの趣旨をふまえて、中学1年生に合わせる必要があると思いますが、その観点からの検討は充分なのでしょうか。		事務局をはじめ、委員長・副委員長で検討しました。
2	こどもアンケート	全体	漢字のチェック（小学校高学年：小学3年生まで、中高 校生：小学校6年生まで）は。		事務局・委託先において、2020年度学習指導要領を参考に確認しました。
3	こどもアンケート	全体	実際のアンケート画面では、すべての設問で選択肢はタテに並ぶのでしたら以下は当たりませんが、今回の紙ベースでは1下2右上3下4となっているのが気になりました。1右2改行3右4の方が横書きの場合、自然のように思いました。		実際のWEBアンケート画面において選択肢は縦に並びます。紙ベースでは、委託先の調査票作成基準より表記しています。
4	こどもアンケート	全体	いじめを想定した選択肢をもっとわかりやすくしたらどうか。		意見をふまえ、問4・5・11・19の選択肢を修正しました。
5	こどもアンケート	4・5	選択肢を武蔵野市と同じように。		回答者負担の考慮を考え、武蔵野市の選択肢をすべて入れることはできませんでしたが、意見をふまえ、選択肢に「悪口を言われたり、仲間外れにされたりしないこと（いじめをふくむ暴力や差別の禁止）」を追加しました。
6	こどもアンケート	4・5	選択肢について、休む権利・遊ぶ権利という言葉を入れた方がいい。可能であれば、「知る権利」「あらゆる搾取から守られる権利」を記載してほしい。	知る権利については問23にもつながるのでは。あらゆる搾取から……については、ヤングケアラーなどの問題も照らし合わせて、意識してもらうためにも必要ではないか。	意見をふまえ、選択肢に「休んだり、遊んだりすること（休む・遊ぶ権利）」「多くの家事をさせられたり、体についていやなことをされたりするなど、人から利用されないこと（あらゆるさくしゅからの保護）」「こどもの権利について学べること（こどもの権利を知る権利）」を追加しました。
7	こどもアンケート	4	設問について、こどもの権利をどれが欲しいという質問に変更してもらいたい	こどもの権利を認識するチャンスであり、どうしたものを欲しているかを明らかにしたい。	どれが欲しいという質問も大切であると考えますが、「あなたが知っている」は内容認知のため外せません。回答者負担の考慮も考え、あたらしい設問を行うことは困難でした。

No.	対象	設問	意見	理由	対応
8	こどもアンケート	5	選択肢4「聴かれる権利」を記載してほしい。	意見表明と同様に聴かれる権利が明記されており、それが重要視されている。	意見をふまえ、選択肢を以下のように修正しました。 「自分の意見を自由に言えること（こどもの意見の尊重）」から「自分の意見を自由に言えること、大人に意見をきいてもらえること（こどもの意見の尊重）」に修正しました。
9	こどもアンケート	5	選択肢5「親からたたかれたり…」を「親」に限らず大人に変更してみてもいい。	大人は親だけではないため、親と限定するのは避けた方がいいのでは。	意見をふまえ「親から」を削除し、「たたかれたり、ひどい目にあわされたりしないこと（暴力からの保護）」に修正しました。
10	こどもアンケート	6	問6と問7の明確な違い。	違いを知りたい。	両方とも自己肯定感を問う設問ですが、心理学的には問6は自己受容、問7は自己表現に関するものと説明されます。こども大綱の観点から言えば、これらの問いはそれぞれ、国がこどもの状況を把握するために設定した指標3と指標5に該当します。
11	こどもアンケート	6	設問の「自分のことが好きだと思うか」というのはしっくりこない。	「好き」という質問の仕方は自己肯定感が強い。大阪らしい「自分って悪くない、悪くないやん」と聴く方が、聴かれる方にとって本当の気持ちがいやすいのでは。	重要な視点ですが、あらためてこども大綱の指標および他自治体の調査を確認し、いずれも「好き」という言葉で記載されていたため、本市調査においても「好き」という表現を用いることとします。
12	こどもアンケート	6	勝井委員の意見に対して。	「悪くない」という表現は、自分が「良い子」「悪い子」という風に捉える子もいるのでは。	こども大綱の指標および他自治体の調査にあわせて「好き」という表現を用いることとします。
13	こどもアンケート	8	設問の文面を「できていますか」に変更するべきでは。	選択肢と合わせるため。	意見をふまえ、設問の文面を修正しました。
14	こどもアンケート	10	選択肢に「自分の住んでいる地域」をいれてほしい。	部落差別の観点から。	「住んでいる場所・地域について」を選択肢に追加しました。
15	こどもアンケート	10	選択肢8「ひとり親」は「親」という表現に変更できないか。	ひとり親に限定しているように感じる。	ひとり親という言葉を除き、「家族のことについて（海外に関わりのあること、お金のことなど）」という選択肢に修正しました。
16	こどもアンケート	10	選択肢1の「いやな気持ち」の表現を「いやな気持ちやしんどい」という表現に変えられないか。	しんどいと感じることも差別の一つでは。	中高生は「差別を受けたことはない」、小学校高学年は「いやな気持ちやしんどくなったことはない」に修正しました。

No.	対象	設問	意見	理由	対応
17	こどもアンケート	10	差別について中高校生は、1万人アンケートの設問を参考に「差別を受けた（いやなことを言われたり、不当なあつかいをされた）」といった文言を入れるべきだと思います。		意見をふまえ、中高校生は「差別を受けた（いやなことを言われたり、不当なあつかいをされたりした）」に修正しました。
18	こどもアンケート	10	選択肢の中に「自分の住んでいる所（のこと）」「障がいがあること」も入れる。	現在の人権教育における人権課題や現代社会における差別問題把握をふまえて。	意見をふまえ、「住んでいる場所・地域について」「障がいや病気について」を選択肢に追加しました。
19	こどもアンケート	10	「被差別経験なし」の選択肢は、最後にもってきた方がよいのでは。		問10の設問は、最初に「嫌な気持ちになったことがあるのか」を聞き、その内容について別設問で聞くことが理想ですが、一つの設問にまとめたことで、このような選択肢の順番としています。
20	こどもアンケート	11	武蔵野市問16を復活させて、子どもたちの今つらいことを聞く必要があるのでは。		意見をふまえ、問11を武蔵野市の問16に修正しました。なお、現在の問11・12をまとめることで、全体の設問数は同じになるよう調整しました。
21	こどもアンケート	16	ヤングケアラーであるこども達が、自分のこととして選択できる設問や選択肢をもっとわかりやすくしたらどうか。		「ヤングケアラー」に関する直接的な質問については、全体の設問数の関係からやむを得ず外しました。ヤングケアラーに関しては、昨年度に大阪府と共同実施しました「富田林市子どもの生活に関する実態調査」において状況を把握していること、また、今後、本市で調査を実施する予定と伺っているため直接的に聞く設問はございませんが、設問4・5・11の選択肢で把握できるよう修正しました。
22	こどもアンケート	19	問19の選択肢10「厳しい決まり事を減らす」ですが、1万人アンケートにおける該当の選択肢10「罰則（ばっそく）を減らす」から表現が変更されていることに違和感をおぼえます。		「罰則」のみならず、「罰則」をかならずしも含まなくても、子どもたちからすると厳しいと感じる「決まり事」についても声を拾いたいための設問です。
23	こどもアンケート	20	設問の「あなたが普段生活している地域（富田林市）…」を学校区など小さいレベルに。	富田林市という設定が大きすぎる。	（富田林市）を外し、住んでいる地域に修正します。学校区など小さいレベルも大切な視点ですが、本調査では校区の設問がないため集計をすることができません。

No.	対象	設問	意見	理由	対応
24	こどもアンケート	22	選択肢に高校生であれば「青年団」、小学生であれば「こども食堂」をいれる。	こうした選択肢があるべきでは。	意見をふまえ、選択肢を修正しました。
25	こどもアンケート	22	小学校高学年向けの選択肢として学童保育をいれる。	夏休みなど学童保育の時間がとても多いため。	意見をふまえ、選択肢を修正しました。
26	こどもアンケート	23	近所のおじさんやおばさんが話を聞いてくれるような状況を選択肢にいれる。	こどもの話を聞いてくれる人いることが大切。	意見をふまえ、選択肢に「気軽に遊びに行けて、話を聞いてくれる場所が近くにある 」を追加しました。
27	こどもアンケート	23	選択肢として「大人が何をできるか」をこどもに直接聞く。	直接大人が何ができるかを聞くことで、こどもが実際に何を欲しているか様々な回答が得られる。	設問数の関係で、問23の選択肢「その他」での自由記述で対応することにします。意見にもあるように、こどもたちが「大人が何をできるか」と考えているのかは繰り返し問う必要があるため、こどもワークショップやこども会議でのこどもたちの発言を促していくことで対応していきたいです。

市民アンケート 意見（2024/8/30）

No.	対象	設問	意見	理由	対応
1	市民アンケート	概要	ベトナム人が富田林市の人口の１％となっている。 ベトナム語の対応が必要ではないか。	現在の居住人口から。	意見をふまえ、富田林国際交流協会の協力のもと、アンケート調査票（ベトナム語）の翻訳を依頼します。
2	市民アンケート	全体	こどもアンケートの修正事項を市民アンケートに反映してほしい。		対応しました。
3	市民アンケート	問15	選択肢に「社会福祉協議会のコミュニティソーシャルワーカー（CSW）」をいれるべきではないか。	現在の富田林市福祉の状況を鑑みた時に非常に重要な役割を担っている。	意見をふまえ、選択肢を追加しました。
4	市民アンケート	問15	選択肢に「民生委員・児童委員」をいれるべきではないか。		意見をふまえ、選択肢を追加しました。
5	市民アンケート	問15	選択肢に大阪弁護士会の「子ども何でも相談」をいれるべきではないか。	こどもの相談機関の一つとして。	意見をふまえ、選択肢を追加しました。
6	市民アンケート	問15	選択肢に「児童館、保育所、園庭開放、保健センターなど」を入れてもいいのではないか。	小さなこどもを育てている方がすぐ思いうかべる場所として。	意見をふまえ、選択肢を追加しました。
7	市民アンケート	問15	選択肢に本市が新たに設置した「こども家庭センター」を入れてもいいのではないか。		本市では「こども・子育て応援センター」という名称を使用しておりますので、選択肢に「こども・子育て応援センター」を括弧書きで追加しました。

関係団体等アンケート 意見（2024/08/30）

No.	対象	設問	意見	理由	対応
1	関係団体等アンケート	概要	資料３－１の７「対象施設・団体等」について、項目に機関を設定しては。	幼稚園、学校、子ども家庭センターはこども関係施設とは異なる区分として機関を使った方がよい。	「対象施設・団体等」に「機関」の項目を設定します。
2	関係団体等アンケート	概要	資料３－１の７に「里親」も記載しては。	市内に養育里親として活動している方がいる。	意見をふまえ、その他相談関係者に里親を記載します。 なお、アンケート調査につきましては、子ども家庭センターまたは高鷲学園を通じて、里親の方に調査やヒアリングが可能か確認を行い、状況の把握に努めたいと考えています。
3	関係団体等アンケート	全体	調査票は機関を対象にしていないのでは。	設問の多くについて機関を想定していないと思う。機関に同じ調査票を送付しても問13・14・15しか具体的な意見を聞けないのでは。	ご意見のとおりアンケート調査票の多くは機関を想定していません。本アンケートを機関に送付する際、回答する設問を精査し依頼したいと考えています。
4	関係団体等アンケート	その他	調査票は送付しなくて良いが、川西市の人権オンプズパーソンにヒアリングをしてほしい。	条例を作るにあたって、先進市の取組状況等を富田林市に生かしてもらいたい。	関係団体等アンケート調査とは別の形でぜひ対応したいと考えています。
5	関係団体等アンケート	団体選定について	団体選定時に情報提供をしたい。		第2回委員会後の意見シートを活用し、委員の皆様にご調査先として入れるべき団体をお聞きします。
6	関係団体等アンケート	調査	作成に余裕があれば、機関用の調査票を作成できないか。		本アンケートを機関に送付する際に、回答する設問を精査し依頼したいと考えています。
7	関係団体等アンケート	問５～８	設問の「あなた」について、回答者によって内容が異なるのでは。	回答者について、新任の方と何年も勤務されている方では感じ方も違い、正確な回答が得られないことが想定されるのでは。	意見をふまえ、「あなた」を削除し「貴施設・団体」への問いかけに変更しました。また、個人から団体への問いかけに変更に伴い、アンケート調査票を以下のとおり整理しました。 ■冒頭に、「このアンケートは個人ではなく貴施設・団体としてのご意見を伺うものです。貴施設・団体の代表・長の方など活動全般を管理・把握されている方に回答をお願いします。」を追加。 ■記入者の役職や経験年数を記載する欄を追加。 ■問５、問７、問８、問10を削除。 ■問６を「知っている権利」から「運営にあたり意識している権利」に変更。 ■新問７として、施設・団体でこどもの権利に関係する研修等の取り組みについての設問を新たに追加。 ■設問順を一部変更 ■軽微な文言修正
8	各種団体等アンケート	団体選定について	全ての子ども食堂にアンケート調査票を送ってほしい。	第3の居場所として、声を上げにくいこどもへのヒアリングにもつながる可能性がある。	子ども食堂は対象団体に含んでいますが、約80団体をアンケート送付対象とすることから、すべての子ども食堂に送付するのは困難と考えています。ご意見もふまえながら精査します。

こどもワークショップ 意見（2024/08/30）

No.	対象	設問	意見	理由	対応
1	こどもワークショップ	概要	参加募集要項にある保護者というのを外して欲しい。	保護者の同意欄を設けることで、声を上げにくいこどもの参加が難しいのではないか。	申込欄に「写真撮影・利用に関すること」「会場への送迎に関すること」について同意欄（チェックボックス）を設けますが、意見をふまえ、保護者による申込制から、こどもによる申込制に変更します。